

拠出金名：南部アフリカ開発共同体拠出金

国際機関等名	南部アフリカ開発共同体 (略称) SADC					
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他	
所轄官庁担当課名	外務省中東アフリカ局アフリカ第二課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注1)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ－ト		
平成15年度	7,418	61		1\$ = 122円	(2003年) 0.9	100
平成14年度	9,040	74		1\$ = 122円	(2002年) 2.1	100
平成13年度	8,132	76		1\$ = 107円	(2001年) -	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 2003－2004年のもの	
1位	EU		71.1			
2位	ベルギー		23.3			
3位	スイス		2.4			
4位	フランス		2.3			
5位	日本		0.9			
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
SADCは、南部アフリカ地域の域内経済の発展及び地域統合等を活動の目標とした地域国際機関である。アフリカ経済の中心である南アフリカ共和国を含み、資源にも恵まれていることから、今後のアフリカの発展にとり重要な存在。また、我が国はアフリカ開発会議(TICAD)において、地域機関を通じた地域協力を推進しており、SADC事務局の強化につながる支援を行うことは我が国の対アフリカ外交にとり極めて有益である。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価 2001年のSADC首脳会議において、本部への権限集中型組織への移行が決定され、改革が進行中である。より効果的な組織に向けた改革の方向は、我が国としても高く評価している。我が国は平成13年度及び平成15年度に「SADC機構改革支援の実施に伴う加盟各国での国別委員会にかかるワークショップ」に対して拠出した。平成13年度のワークショップの結果、各加盟国において国別委員会が設置され、また21部門が4つの分野に統合されると共に、事務局の権限が強化された。						
邦人職員数 うち幹部以上	0人 うち 0人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		人 0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
特になし						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2001年～2003年)。